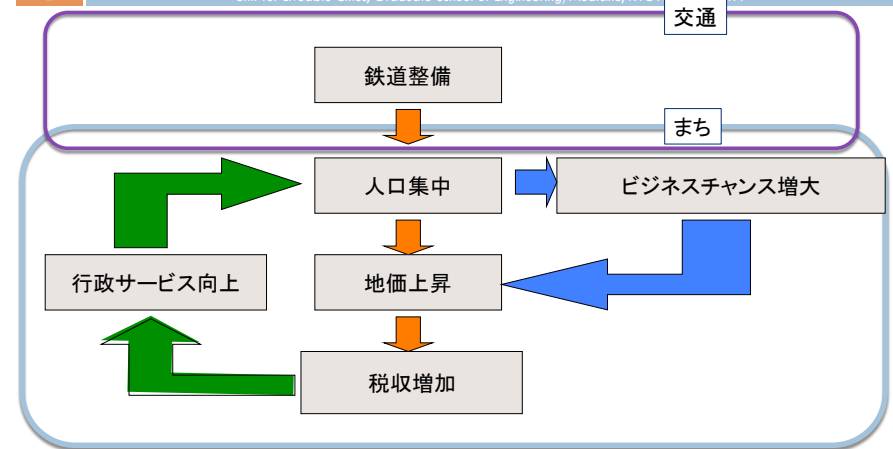




地域公共交通再生のシナリオ 私の問題意識



1. まちと公共交通は共発展構造

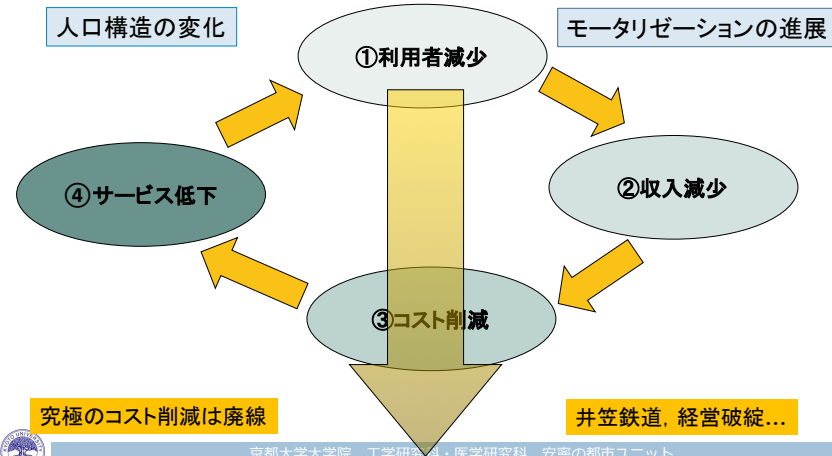


人口増加期、都市成長期の都市集中・都市の拡大を支えた公共交通



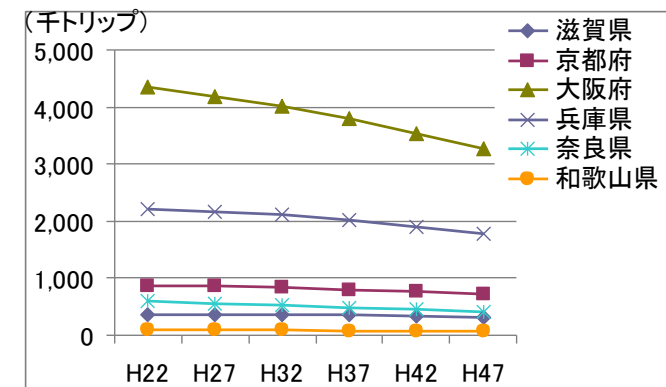
2. 公共交通の現状

負のスパイラル
小林一三の経営モデルも賞味期限が



3.1 鉄道トリップ数の見通し

近畿圏の鉄道利用者数（生成量）は25年後には現状の約77%に



※市町村別性・年齢階層別鉄道生成原単位(第5回近畿圏パーソントリップ調査)に、市町村別性・年齢階層別将来人口(国立社会保障・人口問題研究所推計『日本の市区町村別将来推計人口』(平成20年12月推計))を乗じて推計



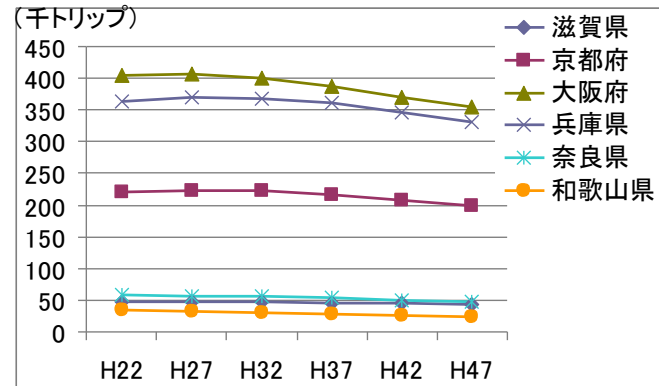


3.2 バストリップ数の見通し

5

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

近畿圏のバス利用者数（生成量）は25年後には現状の約89%に



※市町村別・年齢階層別鉄道生成原単位（第5回近畿圏パーソントリップ調査）に、市町村別・年齢階層別将来人口（国立社会保障・人口問題研究所推計『日本の市区町村別将来推計人口』（平成20年12月推計））を乗じて推計



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット

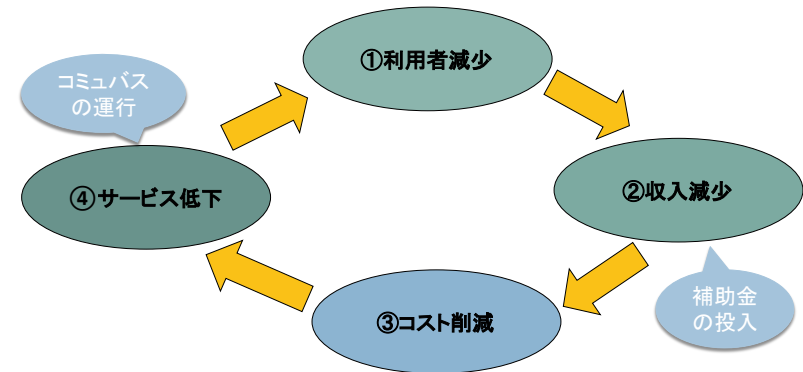


4. 負のスパイラル対策

6

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

これまでにやってきたこと



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット

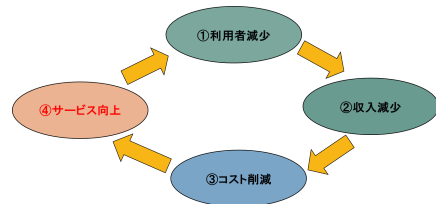


5. 負のスパイラルからの離脱

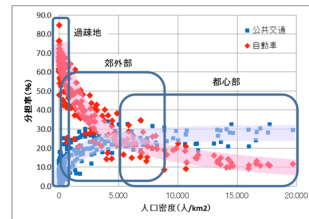
7

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

5.1 負のスパイラル → サービス強化



5.2 スキームの転換



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット



5.1 向上すべきサービスは

8

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

6つのサービスを通して価値創造
安全と接遇は当然として

1. 路線・系統
2. ダイヤ
3. 運賃
4. 車両
5. 駅・バス停・乗換
6. 情報提供

×

利用促進

1. 転換
2. 創造

地域の人たちと連携することにより...



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット

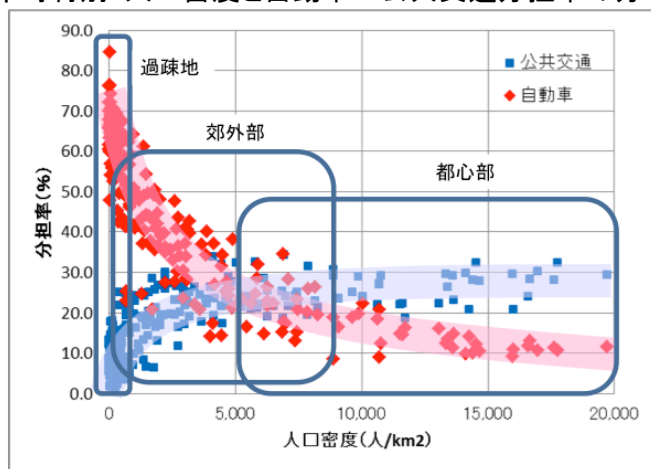


5.2 公共交通とエリア認識

9

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

市町村別：人口密度と自動車&公共交通分担率の分布



第5回近畿圏パーソントリップ調査(2010年)

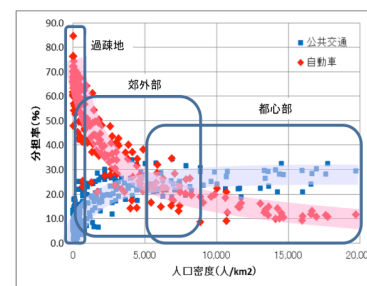


5.2 エリア認識と事業スキーム

10

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

- 都心部：民営でも（自動車抑制策も成立）
- 過疎地：過疎地有償（インフラとして位置づけ）
- 郊外部：委託（赤字ではなく費用，福祉・教育）



エリアごとに交通政策は全く異なることを認識する必要がある

上下分離は全体で必要

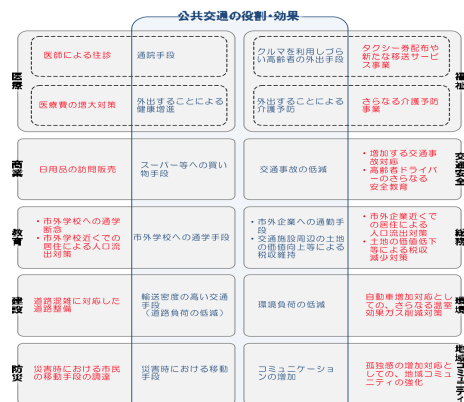
公共交通への予算(支援)は生活と都市の未来に対する投資・経費



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット

6. 公共交通の価値・役割

公共交通を維持することが目的ではなく、どんな価値を創造するのか



公共交通がない場合に必要となってくる各分野の対策(赤文字)

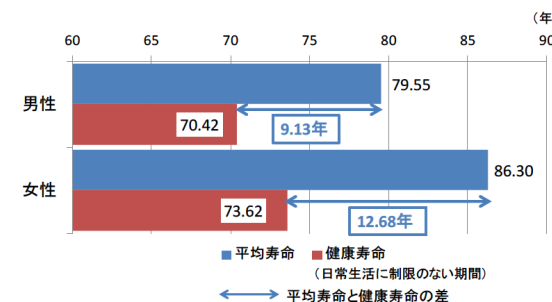


6. 例えば、健康

12

Unit for Liveable Cities, Graduate School of Engineering/Medicine, KYOTO UNIVERSITY

□ 平均寿命と健康寿命 → 外出，交流



（資料：平均寿命（平成22年）は、厚生労働省「平成22年完全生命表」
健康寿命（平成22年）は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」）

厚生科学審議会地域保健健康増進栄養部門他：「健康日本21（第2次）の推進に関する参考資料」
2012年7月より



京都大学大学院 工学研究科・医学研究科 安寧の都市ユニット